

自然の家を拠点とした「人と人・人と自然」をつなぐ主催講座 ～ 一宮町の魅力を船橋の子供たちに ～

ねらい

船橋市立一宮少年自然の家がある一宮町の自然を生かした講座を企画し、体験活動をととして自然の素晴らしさや大切さを伝える。講師には地元を知り尽くす自然保護活動団体の方を迎え「人と人」「人と自然」をつなぐことで、普段体験することのできない機会を提供し、一宮町の魅力を船橋の子供たち（保護者を含む）に発信する。

実施日 令和5年5月20日（土）～5月21日（日） 1泊2日
参加者 19名（内訳：小学生9名。中学生1名、保護者9名）
場 所 船橋市立一宮少年自然の家・一宮海岸・東浪見海岸
講 師 一宮ウミガメを見守る会
講座名および内容 ファミリーチャレンジ ～海辺の探検に行こう～

◆【一宮ウミガメを見守る会】◆

一宮町の海岸がずっとアカウミガメのふるさとであり続ける環境であることを願い、ウミガメの生態を妨げることなく常に見守る姿勢で毎年6月～9月に産卵にやってくるウミガメの保護活動、調査活動そして広報活動を行っている自然保護団体。

★講座のキーワード：一宮町の自然 → 海 → ウミガメ → 海岸環境の保護 ★

【1日目（5月20日）】

生態系や環境に配慮したアカウミガメを守るための取り組みである保護活動についての話を聞いた。その後、一宮海岸の現状や課題について学び、海岸で採取した貝殻を使いハーバリウムを作成した。



（アカウミガメの話を聞く子供たち）



（ハーバリウムの作成）

【2日目（5月21日）】

東浪見海岸においてビーチコーミングを行い海岸環境の現状を把握し、環境を守るために何が必要なのかを学んだ。また団体がアカウミガメのふるさとであり続けるためにやっている活動の大切さを理解した。



（海岸環境を破壊する漂着物を使用したアート作品）



（ビーチコーミングの様子）

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ・いろいろな生態系を教えていただけてとても楽しかった。
- ・海辺にはいろいろな物が落ちていて子供たちが新しい発見ができてよかった。
- ・いろいろな貝があっておもしろかった。・楽しかったのでもう一度いきたい。

成果

「一宮から発信」というコンセプトで実施したことにより、普段味わったり、向き合ったりすることのできない新鮮な非日常体験が、満足度の高さに繋がったように思う。内容についてのアンケートは「とても満足」「満足」という結果であった。

今後の課題

講座の企画にあたり、避けなくてはならないのが「マンネリ化」である。次年度以降も一宮町の魅力を発信する講座を継続するため、十分なリサーチのもと素材集めや人のネットワークづくりを継続的に行い、「オンリーワン」の講座を実施できるよう努力していきたい。